

町指定
文化財

磨崖仏(25・26)



水木嘉右衛門の発願で明治元年(1868年)からこの付近の花崗岩に毎年一体ずつ彫られました。西国三十三観音にならって三十三体にしましたが、そこからさらに三体加えられ、大正初期に三十六体の磨崖仏が完成しました。磨崖仏は穏やかな微笑みを浮かべ、その周辺は静寂に包まれており信仰の地にふさわしい雰囲気となっています。

町指定
文化財

榊森神社 狛犬(37)



榊森神社境内にある狛犬です。木彫寄木造りで彩色が施されています。室町時代に造られたものだという話があるものの正式には分かっていません。高さは約40cm、前足や胸の堂々とした張り具合や凄みある表情は、見るものに威厳を感じさせます。

町指定
文化財

光教坊大イチョウ(19)

光教坊境内にある大イチョウ。いくつにも枝分かれした幹が天を仰ぐように伸びており、幹からはいくつもの乳柱(乳房状の突起)が垂れ下がっており「乳下りイチョウ」と呼ばれています。樹齢推定は約250年、高さ約26m、根回り約6.8mもあります。11月頃に紅葉の見頃を迎え毎年光教坊を金色に彩ります。

熊野町
文化財
ガイドマップ

37 榊森神社

毘沙門堂 39
海上側古墓 40

38 重林寺観音堂

竜王山
447.9m

至 東広島市

36 牛神社

174

熊野第二小学校
深原地区公園熊野東防災
交流センター

33 薬師堂

35 若宮神社
バレーボールセンター

174

32 土岐神社
土岐城跡土岐城山
418.6m

34

龍王神社奥之院

龍王神社 30

熊野東中学校

至 東広島呉道路
黒瀬IC →

熊野黒瀬トンネル

文化財名

町指定 町指定文化財
国登録 国登録有形文化財
※詳細は表面をご確認ください。

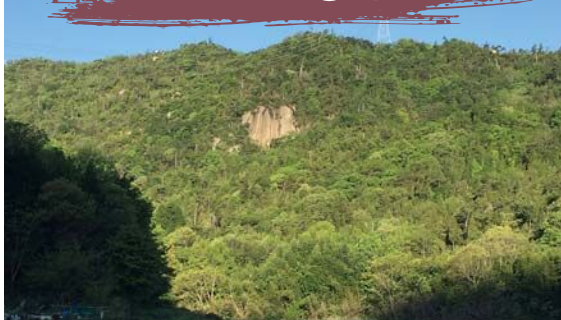
No.	文化財名
1	的場神社
2	明神社
3	釈迦堂
4	貴船神社
5	皇帝神社
6	姫白観音
7	砂子橋
8	亀跡墓 町指定
9	岸田八幡宮
10	阿弥陀堂
11	石嶽山観音堂
12	大蔵神社
13	佐太夫神社
14	榊山神社 町指定
15	諏訪神社
16	熊野本宮社
17	稲荷神社
18	西光寺
19	光教坊
20	郷土館
21	鬼瓦 町指定
22	牛神社
23	胡子神社
24	小倉神社
25	ゆるぎ岩 町指定
26	ゆるぎ観音 町指定
27	不動堂
28	そら不動
29	豊橋稲荷
30	龍王神社
31	龍王神社奥之院
32	土岐神社
33	薬師堂
34	菅原道真公 御座石
35	若宮神社
36	牛神社
37	榊森神社 国登録
38	重林寺観音堂
39	毘沙門堂
40	海上側古墓

筆塚(14)

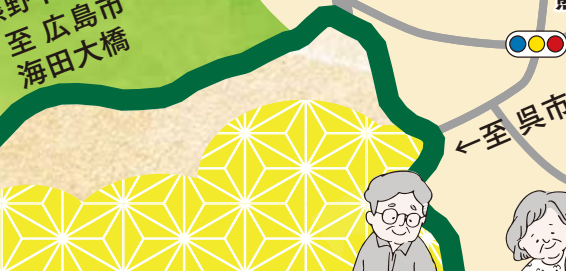
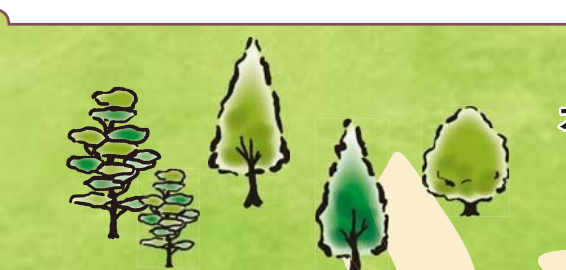


榊山神社境内に昭和40年(1965年)に筆の精と祖先の遺徳に感謝を込めて建てられました。これまで使用してきた筆を心から大切に思う気持ちと同時に筆の毛となってくれる動物の霊に感謝し毎年秋分の日に、この塚の傍で筆を焼き供養しています。筆塚を建てる際に、当時の筆司達の銘筆を収めたそうです。この「筆塚」の文字は広島県出身の池田勇人元首相の肉筆を刻んだものです。

涙岩(6)



白姫観音(涙岩神社)の上に位置する岩。その昔、権次という子供が無理矢理働かされ岩の上で涙を流し、いつの間にか権次の姿は消えて岩の隙間から水が流れ出したそうです。この岩の隙間の水は絶え間なく流れ出すようになり、流れ出る水を「権次の涙じゃ」と言って「涙岩」と名付けたと言われています。現在では水はあまり流れていないようですが、権次の悲しい話は今でも語り継がれています。



中溝通り



この通りは「中溝通り」と呼ばれ古くから町割を形作ってきたメイン通りとなっています。明治初期から昭和前期にかけて建築された筆屋の建物とともに郷土館、寺院等が立地しています。今も残る筆屋の建物は当時熊野を訪れた書家の先生方などをもてなすため中庭や奥座敷といった特徴的な造りになっています。また郷土館も元々は酒蔵であり酒造りが行われていました。中溝通りは現在でも筆屋やいくつかの飲食店がお店を構えその面影を残しています。

榊山神社御神木(14)

榊山神社の拝殿前には樹齢約800年の杉の大木。大木の高さは約20m、根回り約4m。昭和30年に雷に打たれ上部を焼失しました。避雷針となり傍にある拝殿を守ったとあがめられてきました。その後も傾きながらも御神木の役目を果たしてきました。令和6年5月29日に安全性を考慮し伐採されました。伐採後も切り株は残され多くの人に親しまれています。

